



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業を受けて心に残ったことは、原子爆弾が爆発した時、大きさが200mで、表面温度が7000℃で、落ちた時に43000℃ということでした。爆発した時は太陽の表面温度よりもあつく、広島県に落ちた時は、氷や人間の内臓が蒸発してしまったり、動物が死んでしまったことなど、2つ目に心に残ったことは、兵隊たちの投下された後の作業のことです。被爆して死んでしまった人の体が「ヤけど」で赤くなっていたり皮がたたくられていた人間の姿のない人間を運んで燃やして灰にしたことなど、このことから私は、すごく悲しい気持ちになりました。

この授業で考えたことは、戦争は絶対にあってはならないということです。人間がおこなったことなのに、他の関係のない人まで巻きこんでしまったり、人にならなことです。また戦争を行なって冷戦状態の国や核爆弾を持っている国は、そのようなことをなくして、地球や人々のことを思って、自分の心に平和なとりかえを作りたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

自分は、原爆先生の特別授業を受講して、さまざまなことを学びました。自分は、前から戦争について興味を持ち、「はだしのゲン」などを読んでいました。戦争について少しは知っていましたが、この特別授業を受講して、知らなかったことも知ることができました。

広島に投下された原爆「リトルボーイ」については、初めて知ったことです。全長3.12m、重さ約4tということに驚きました。原爆投下の候補になった都市が①広島②小倉③長崎だということは知っていましたが、3つ全ての都市の天候が悪ければ、原爆投下も断念することは知りませんでした。原爆の熱線は太陽の表面温度より1000℃も熱い、7000℃だということに恐怖を感じました。太陽よりも熱いものが上空にあったと考えるだけで恐いです。広島市人口が35万人だったのが、被爆者数が24万人、死者数が40%と聞いたとき、改めて原爆はとてつもないものだと感じました。

自分は、この世から戦争がなくなつてほしいと、強く願っています。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の授業を受講して、改めて、戦争はこわいと思いました。また原子爆たんのおそろしさをしりました。爆たんはグラニウム(ウラン)を60kgも入れて発射したのに、1kgしか爆発しなかったのに、14万人もの人が死んでしまう。大きほなもので、もし、60kgだったら、今のかくへいきが原子はくたんだったら、となると、もっと大きほになっていたと思います。また、あの熱い、太陽よりも高い温度のものが、おさてきたというのには、おどろきました。さすがに、人が川にはいり、じょうはつして、水がほほなくなる。というのも100度いじゅうということだから、すごくおそろしいと思いました。もし、自分が兵士だったら、目をそむけて、ずと泣いていたと思います。今は、戦争になていないけど、北朝せんがかくミサイルをうってきたら...と思うと、とてもこわいです。このことを他の国におしえて、どうか戦争がなくなて、ほしいとおもいました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

ぼくは、広島原爆の授業を受けた時、原爆があったことは、とても印象には残っていましたが、イメージがわいてこなくて、心のどこかで、原爆を軽く見てしまっていました。でも、原爆先生の特別授業を受けて、考えがガラッと変わりました。原爆先生のお話のおかげで当時の様子をイメージをすることができました。そして、原爆の威力、被爆者の数、様子、全てが自分の予想以上でとても悲しくなりました。昔の軍人はすごいなと思いました。ぼくは、歩きまわって、死体を集めるなんて考えるだけで吐き気がしてきました。ぼくは、被爆者の気持ちを考えてみましたが、あまりにも原爆の威力がすごくて、想像できませんでした。これからは、原爆があったことを常に豆貝に入れて生活したいと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日の原爆先生の特別授業では、生きていることの
すばらしさをすごく感じました。

もちろんですが、私は原爆があたるときは、まだ生まれていま
せん。そんな私でも、原爆のこわさがよく分かりました。
太陽よりも熱い温度の物が空で急に爆発し、
何も見えなくなり、体が熱くなるなんて、今の日本では
ありません。ひ爆者の方はもう、何もすることが
できなかったと思います。そして黒いザリになり、真赤に
なったりして、息たえていく。考えるだけで悲しくなり
ます。そのような人が町中を歩いて、目の前で目撃したこと
言っても何もできなかった池田義三さんたちは、さぞかし
胸が痛むでしょう。さきまですら、つうに過ぎていた
のに、急に地獄のようになる。いつ、なにが起きるか
分かりません。なので、前も、たくさん準備をしておくのと
同時に、たくさんの方が、原爆のことを知るべきだと思います。
時代は流れて、ひ爆者の方が少なくなっていきます。原爆を知らない
だっていると思います。そんなことがないよう、たくさんの方に生きるすばらしさを
教えたいです。そして、もう二度と戦争など“せず”
世界が平和になってほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業を受けて
ぼくは、原爆の恐怖を知りました。例えば、人の
皮ふがはがれるということは、想像するだけで
ふるえが止まらなくらい怖いんです。そして原子
爆弾のしくみを知り、改めて絶対あてはなら
ない物だと思いました。た、た一発で直径
5kmの都市を破壊するなんてまったく
イメージがつかせませんでした。しかも、今はこの原子
爆弾の1000倍。地球がなくなるのではないか
と思いました。また、原子爆弾を経験した方々は
本当に思い出したくない人だと感じました。だけど、
原爆先生の話を聞いて、これからは「自分たち
が伝えなければならぬ人だ。自分たちより年下
の人たちに伝えなければならぬ人だ」と感じまし
た。この原子爆弾はあてはならない、
忘れてはならない出来事だと感じます。
自分の中で原子爆弾に対する思いが
変わりました。原爆先生、本当にありがとう
ございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

空高く上り、上り、上り続けた後、不気味な色とともに大きくふき上がる原爆雲、まぶしすぎる光りとともにおそってきた爆風、一瞬で命が消えていく絶望、目を開くすきさえもあたえず、目の前が血の海になる現実、私はこの特別授業を受講して、目をそむけてはならないことを知りました。今まで気にもしていなかったこと、そもそも知ろうともしていなかったことを、つきつけられました。心の中からこみ上がるおどろき、おどろきというよりも、「とまどい」と言いますか、何かこう「今来るかも」という、おそろしさ、でしょうか、人口の40%をしめるほどの「死、人の命」というものが、こうも簡単に無くなっていくのを目の前にしたら、もう「死」というのは何なのかよく分からなくなりました。この人の死というものから、目をそむけている人が、この世界には何人もいる、それ以前に、その事実さえ、知らない人もいる、というのは、とても悲しいことだと思います。だから、これからの時代、この事実が消えてしまったり、また同じことがくり返されてしまうかもしれない、この世界の人口が、一人でも多くの人がこの事実と向きあってくれれば、きっとこの日本は、みんなが「命」を大切にして、事実を受けとめて、心の強い日本となっていくと思います。こと日本の幸福とともに、さな、た、ち、に、安らかな眠りを。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

「痛い…」 「たすけて…」 と両手をななめ前に下げて、人間の
ようなものが歩いてきます。全身にひどいやけどをし、皮ふがはがれ、
指先からは液体がたれていきます。手をさしのべようとうごを
ひきはると――。

私は、原爆によって被害を受けた方の苦しみを想像する
こともできません。なぜなら、原爆とはきっと、私達が考える
よりも何倍にもおそろしいからです。いっしょに生きて七くな
られた人の家族は、その人の遺体さえ見ることができない。
死なずにすんだ人でも、たくさんのものを失った悲しみや、
後いしょうのような病におかされる苦しみがあるでしょう。
苦しんでいる人の声に耳をかたむけ、手をさしのべようとしても、
そのことで、さらに苦しんでしまう。「たすけたい」と思っても
「たすけられない」苦しむ人々を後にした時の心は、とても
苦しかたと思います。

私は、このようなことを、もう起こしてはいけな
いと思います。また、忘れてはいけな
いと思います。本当の苦しみ
や悲しみは伝えられな
いけれど、「原爆があ
った」という
事実だけは、いつま
でも伝えられてい
くといひな
と思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の授業を聞いて、心に残ったことが3つあります。

1つ目は、私が本を読んだり、人から聞いたりして、想像したことより、この原爆は、すごく大変だということです。ビデオや写真、話しを見たり聞いたりして、原爆のことが色々残されている資料館のビデオに写っていた、どろどろになった人の人形を、原爆先生の父は、「きれいだ」と言っていたと、いうことを聞きました。ただでさり、どろどろで気味が悪かったのに、これ以上だ、たと思うと、もし私がこの現場にいたら、こわくて、泣いていたと思います。

2つ目は、原爆が落ちた時の様子です。一瞬にして、人がきえてしまう高い温度だったと聞いて人がきえるなんて想像したことがないので、すごくおどろきました。

3つ目は、最後のビデオで、原爆先生の父が、様子などを語っている時に、と中から、少し泣いていました。原爆は、それぐらい、おそろしく、被爆者は、とても大変だったんだなと思いました。